

# 令和5年度宗谷管内地域いじめ問題等対策連絡協議会だより

令和5年12月25日（月）発行：宗谷管内地域いじめ問題等対策連絡協議会事務局

令和5年11月14日（火）、宗谷合同庁舎大会議室において、第1回宗谷管内地域いじめ問題等対策連絡協議会を開催しました。警察署職員、教育委員会職員、関係機関及び団体等の構成員23名が参加し、管内における児童生徒のいじめ・不登校等の生徒指導上の諸問題について情報交換や協議を行いました。

## 【説明】第1回全道生徒指導連絡協議会の内容の紹介

### ・北海道いじめ防止基本方針の改定について

主な改定のポイントは、「法に基づくいじめの積極的認知（「いじめ見逃しゼロ」）の徹底」、「法に基づく道教委の指導助言及び市町村教育委員会との連携強化」、「警察等の関係機関との連携による事案への対応」である。

### ・学校と家庭が連携したいじめ対応について

北海道や道教委の相談窓口について紹介し、保護者から子どもへの声掛けや一人で悩まず、学校と家庭で一緒に解決していくことが重要である。

### ・いじめ対応ガイドブック・支援ツール「コンパス」について

「コンパス」には、いじめ対策の取組や組織的な支援の在り方について記載している。生徒指導に係る校内研修等で活用し、学校における組織的ないじめ防止に向けた取組の充実を図ること。道教委の生徒指導・学校安全課のウェブページからダウンロードすることができるので活用願いたい。



## 【テーマ】いじめに悩む児童・生徒ゼロに向けた取組の推進

【構成員の方々からの取組等の情報共有及び協議内容のまとめ】

### 重点推進項目1 管内のいじめや不登校の現状と課題の共有

- ・いじめの積極的な認知のもと、いじりではなくいじめとして対応した。魂込めて指導しようと呼びかけ、学校全体で連携して対応している。【学校】
- ・非行少年の中にはいじめの被害者や加害者がいる。【関係機関】
- ・少年人口が減っているが、鑑別所の収容が増加している。背景の一つにいじめが関係していないか懸念している。【関係機関】



### 重点推進項目2 いじめはどんな理由があっても許されないと考える児童生徒の育成

- ・子ども一人一人の自己肯定感を高め、認め合い、尊重し合える関係の構築が重要である。その取組として、運動会や文化祭において、児童の良い点や日頃の頑張りを「～頑張ったね。」と記入し、それを模造紙に貼り、積み上げていく活動を行った。児童は自分の頑張りを認めるきっかけとなった。【学校】
- ・いじめのアンケートの実施がいじめの抑止効果となっている面がある。いじめに対し、学校として組織で対応している。いじめの対応については初期対応が大切である。【学校】
- ・寄り添ってその子の話を聴く。いじめが多様化して、これはどうなのだろうか考える案件が多いと思う。親子ふれあい広場を学校でも実施すると良い。【地域・家庭】

### 重点推進項目3 SC等の専門家を交えたいじめ防止の研修の推進

- ・学校いじめ防止基本方針を見直した。教職員の理解を図ることといじめや問題行動の未然防止が大切である。教職員に生徒指導提要について紹介した。生徒指導力の向上を目的に今後も研修を実施したい。【学校】
- ・仲間同士が支え合うピアサポートに係る研修を生徒、教員でそれぞれ実施した。ICTを活用して、グループ協議や意見交換を行った。【地域・家庭】
- ・人権について考える取組を学校や関係機関と連携して実施した。その他、いじめの早期発見、解決及び未然防止に関して、人権作文コンテスト、人権教室、花を育てることで命の大切さを醸成する人権の花運動を実施している。【関係機関】
- ・人権教育を多くの学校でぜひ実施してほしい。【関係機関】

⇒各学校・地域での取組を踏まえ、第2回の地域いじめ問題等対策連絡協議会で実践事例の収集及び共有